

...

Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No.85



特集① 想いをつなぐ未来へのバトン

特集② キラっとした職員になるために
未来をつくる愛光の研修プログラム

心が温まる灯台カフェ

佐倉市南部地域福祉センターにおける一部臨時休所のお知らせ
/感謝のコーナー / 日誌抄録 / 編集後記

地域と福祉の架け橋
～佐倉市立佐倉南図書館 × 愛光販売会～

キラっとした職員になるために… 未来をつくる愛光の**研修プログラム**

愛光では職員一人ひとりのスキルアップのため、キャリアに応じた育成プログラムを用意しています。実際に働きながら先輩職員から学べることはもちろん、現場から離れた座学、研修によるスキルアップにも力を入れています。

法定研修をはじめ、昨今では以下のテーマに重点を置いて研修を進めています。

- ・医療的知識の向上(特に緩和ケア)
- ・意思決定支援
- ・地域移行の推進
- ・個人情報の適切な取り扱い



これらの研修を通じて、職員一人ひとりの専門知識を深め、より質の高い支援を提供できるよう努めています。

研修を企画する委員会では、職員がより関心を持ち参加できるようアンケートを活用しています。職員一人ひとりが主体的に学び、成長できる環境を整えていることが、愛光の研修の特色です。

職員の声

- ・時間をかけて研修を行ったおかげで、とある利用者の方の食事支援が大きく改善されました。
- ・実際に起きた内容を用いた講義であった為、具体的でわかりやすかった。WEB講座も交えながら講義の回数を増やして欲しい。



新任職員研修

愛光で働く職員として必要な知識、技術、マナーなど幅広く研修します。4日間に渡って行われ、同期との交流や、これから教わる先輩職員との顔合わせもあります。視覚障害の方が多く生活されていることもあり、座学だけではなく実体験を通して援助方法を学びます。



メンター研修

職員育成プログラムとしてメンター制度があります。その中でメンターを務める職員を対象にメンター研修を年に数回開催しています。

研修では、新人職員を指導する中での悩みや課題を他のメンターとのグループワークで共有、具体案を挙げこれからの改善に活かしていきます。

研修の目的として、メンター自身の問題解決力を身に付けることはもちろん、他のメンターと交流することで自己の振り返りや他者の良い点を吸収し成長につなげるという面もあります。

中堅職員であるメンターには、将来的な指導者としての成長も期待されています。その為には自身のことだけでなく、周りのことにも目を向け、理解を深めていかなければなりません。その第一歩として、一人の新人職員のサポートをしていく中で他者の考えに寄り添い、ともに改善のためのアプローチをしていくという技術を培っていきます。

経験を重ねながら、悩みや課題を整理し、新しい取り組みに繋げるきっかけになるのがメンター研修です。

「メンター」とは

新人職員(メンティー)をサポートする為に、メンティー1名に一人ずつ付く年齢の近い先輩職員のこと。業務に関する助言から、職場での精神的な拠り所としての役割も担う立場で、1年間メンティーのサポートをしていきます。



テクニカルスキル研修

愛光の役職員、主任以上の職員を対象に行われる研修が、テクニカルスキル研修です。外部のコンサルタントを招き、福祉制度に関するより専門的な知識を身に付けていきます。

昨年度に行われた研修では、社会福祉法人として愛光が営む事業についての理解を深めつつ、令和6年の障害福祉サービス報酬改定に伴うルールの変化など、制度の変化に関する内容の研修を行いました。

これからの愛光の運営を担う立場としての意識付けと確かな知識習得の機会を作り、法人事業の安定を目指した人材育成を行っています。



灯台

愛光後援会 愛の灯台基金 presents

心が温まる カフェ

愛光後援会「愛の灯台基金」は、「地域の福祉文化の向上」の推進を通じて、地域に貢献することを主な目的としています。もちろん、愛光の福祉サービスへの支援も行っています。今回、基金では入所利用者やご家族を対象に、「灯台カフェ」を企画しました。その様子をご紹介します。

3月16日、障害者支援施設めいわの作業室は、温かい笑顔と柔らかな音楽に包まれていました。コロナ禍で面会の機会が大幅に減っていた利用者とそのご家族に、心安らくひとときを提供することが目的です。久しぶりにご家族が参加された行事を、喜び合う姿が会場のあちこちで見られました。コーヒーの香りとともに、ロールケーキが運ばれてきました。

高齢になったご家族にとっては、共に外出する機会も減る中で、施設という安心できる場所で、ゆっくりと話せる時間が何よりの贈り物となったようです。日々の出来事や思い出話など、会話の花が咲き、穏やかな時間が流れていきました。



続いて会場を優しく包み込んだのは、職員と利用者によるフルートとピアノの生演奏でした。心地よい音色が、和やかな雰囲気さをさらに深めていました。また、ウェイターとして活躍していたのは、地元の学生ボランティアの皆さんです。丁寧な対応は、参加者にとって忘れられない思い出となったようです。

この空間を支えたのは、「愛の灯台基金」の力強いサポートでした。運営委員自らがボランティアとして準備段階から尽力し、細やかな気配りによって、初めての試みとは思えないほどの温かい雰囲気のカフェを作り上げました。

参加者からは、「久しぶりに家族とゆっくり話せて本当に嬉しかった」「温かいもてなしに心癒されました」といった喜びの声が寄せられました。愛の灯台基金では、今後、他の事業所でも「灯台カフェ」の実施を予定しているそうです。

基金では、「皆様からお預かりした会費の一部を、交流の場づくりのために活用しています。ぜひ、『愛の灯台基金』の活動にご賛同いただき、会員としてご支援いただけますと幸いです」と呼びかけています。

社会福祉法人 愛光 後援会 愛の灯台基金
会員募集 個人：¥1,000 団体：¥10,000



佐倉市南部地域福祉センターにおける 一部臨時休所のお知らせ



佐倉市(福祉部社会福祉課)より、令和7年2月22日付で、「佐倉市南部地域福祉センターの一部臨時休所のお知らせ」がありましたので、ご案内いたします。

●臨時休所期間

令和7年6月1日～令和8年度(予定)

●臨時休所中に利用できない施設

佐倉市南部地域福祉センターA棟

1階: 舞台付き大広間、作業室、浴室

2階: 娯楽室1・2、会議室1・2、健康談話室

※廊下やロビーも含め利用できません。

●理由

現在、佐倉市南部地域福祉センターA棟の冷温水式空調において故障が発生し、修復が難しい状況となっております。佐倉市においては事業継続の方法を模索していますが、公共施設再配置方針を鑑み、施設の在り方については、より全体的かつ丁寧な検討を必要としているとのことです。

6月1日より、A棟で行っていた事業(センターのイベント、教養教室、同好会他)は、B棟の研修室と和室を使用して、当面の間、事業展開をしていきます。今後ともよろしく願いいたします。



研修室



和室

感謝のコーナー (2024.12 ~ 2025.3)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】酒井綱一郎 有山賢一 亀岡孝仁 宍田紀子 浅村洋子 横山敏弘

【団体】さくら山王自治会 さつきが丘宮野木台地区部会 さくらあったか食堂ネットワーク

日誌抄録

(2025.1 ~ 2025.3)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 8
日
15
日
18
日
21
日
23
日 | 人材育成トレーニング
地域食堂ともいき
理事会
南図書館販売会
施設・業務診断
"
山王みらいプロジェクト
テクニカルスキル研修
日中活動支援部会全国
大会 |
| 2 | 6
日
10
日 | 内部登用試験
テクニカルスキル研修
メンティー交流会 |

3

- | | |
|--|---|
| 11
日
12
日 | コ・ヒューマントレーニング
BCP 研修
南図書館販売会
地域食堂ともいき / 褥瘡ケア
研修 |
| 1
日
3
日
4
日
11
日
12
日 | ボランティア交流会
地鎮祭
地域食堂ネットワーク研修
第三者委員報告会 / 防災訓練
コ・ヒューマントレーニング
理事会
灯台カフェ
南図書館販売会
地域食堂ともいき |

- | | |
|---------|---------------------------|
| 日
15 | 労務研修 / テクニカルスキル研修
評議員会 |
|---------|---------------------------|



編集後記

今回、創立 70 周年となる広報誌の編集を担当し、改めて「歴史を受け継ぐ」ということの重みと尊さを感じました。これまで先人たちが紡いだ想いや創意工夫、支え合いの姿が確かに息づいており、それが今につながっていました。私自身が関わっているのはこの 10 年ほどですが、それも愛光の一部として積み重なっていくことに、誇らしさと責任を感じます。先輩方から受け取ったバトンを、次の世代へしっかりと渡していけるように一そんな想いを胸に、これからも歩んでいきたいと思ひます。(須藤)

編集委員

宮部和樹(委員長) / 野呂快(ルミエール) / 関谷篤史(めいわ) / 仲山友里恵(リホース) / 岩井聡子(根郷通所センター) / 清水翔斗(はちす苑) / 岩崎秀夫(南部包括支援センター) / 高橋飛鳥(ワークショップかふらぎ) / 齋藤理江(児童センター・学童) / 須藤謙(本部)

202年(令和7年)5月16日 発

社会福祉法人 愛光

発行人 西原 弘明

編集人 広報委員会

〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9

TEL.043-484-6391

FAX.043-484-6396

E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp

URL https://www.rc-aikoh.or.jp

印刷: ワークショップかふらぎ

Library



佐倉市立佐倉南図書館 × 愛光販売会

地域と福祉の架け橋



Library

皆さんは図書館と聞いて何を思いかれますか。本を借りるところ、調べものをするところ、勉強をするところ…そんなイメージではないでしょうか。

佐倉市の山王地区にある佐倉南図書館では、本の貸し出し以外にも地域と福祉の架け橋となるよう、愛光の利用者がつくる作品を販売する場を提供していただき、図書館入口ホールにおきまして、定期的に開催しています。

図書館の公式ホームページでも販売会のお知らせを掲載していただいていますので、そちらもぜひチェックしてみてくださいね。

4月に行われた販売会では、訪れた方から「これかわいいね」「作品作り頑張ってるね」など嬉しいお声をいただきました。地域の皆様に喜んでいただけるような、素敵な作品をお届けできるよう、今日も愛光は作品作りに励んでいます！



出品している商品は、いずれも手仕事のぬくもりが感じられるものとなっています。伝統的なさをり織り、温かみのあるクラフト作品、風合いのある木工品など、何気ない日常を少しでも特別な瞬間にしてくれる、そんなアイテムばかり。また、季節のお花や寄せ植え、自然由来の肥料など、愛光の人気商品も取りそろえています。佐倉南図書館にお越しになった時には、ぜひ愛光販売会にもお立ち寄りください。



販売会は、愛光の利用者も一緒に接客を行なっています。

一つ一つ大切に気持ちを込めて育てました。

イベント

愛光販売会

時間

10:00~14:00

会場

佐倉市立佐倉南図書館

開催日

毎月第3火曜日

佐倉市立図書館
公式ホームページ

